

電気工事説明書

ダウンライト

SS ポートGⅢ

ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ

《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本説明書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

はじめにお読みください



このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「ダウンライト」の電気工事について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず電気工事される方にお渡しください。
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。







本説明書内の表記

警告／注意／お願い

- 商品の電気工事をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の電気工事を行ってください。

表記	意味
 警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 注意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

その他の表記

表記	意味
	商品や作業の変更点
	作業するうえで必要な情報
	知っておくと便利な情報
	必ずシーリングをする箇所
	電動ドライバーの使用禁止
	電気工事士の資格が必要な作業

- 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。
- 本説明書は、電源を外観左側から引き込む配線図で示しています。

もくじ

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
作業前の確認	P.4
同梱一覧	P.4
全体構成図	P.5
結線図	P.5
照明の取り付け	P.10
梁配線カバー材の取りはずし	P.10
センサーの取り付け	P.10
サージプロテクタの取り付け	P.12
照明の取り付け	P.13
センサーの動作確認	P.14
センサーの感知エリア	P.14
センサーの操作確認・設定	P.14
梁配線カバー材の取り付け	P.16
梁配線カバー材の取り付け	P.16

⚠ 警告

- 電気工事は、電気工事士の資格が必要です。
関連する法令・規定を遵守し、必ず電気工事士が行ってください。
漏電や感電により、火災や人身事故につながるおそれがあります。
- 本説明書記載以外の加工、組み立て、施工など、改造を行わないでください。
火災や感電、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 取り付け方向、設置場所に指定がある器具は指定に従い取り付けてください。
発火による火災や感電、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- 温度の高くなるものの近くに取り付けないでください。
火災の原因となることがあります。
- 電線は、折り曲げたり、はさんだり、キズをつけたりしないでください。
漏電や感電により、火災や人身事故につながるおそれがあります。
- 電源は定格電圧を超えて使用しないでください。
発火による火災や感電、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- 電源は漏電ブレーカーを介して、必ずD種接地工事を行ってください。
漏電や感電により、火災や人身事故につながるおそれがあります。
- 電装部品の分解、改造は行わないでください。
漏電や感電により、火災や人身事故につながるおそれがあります。
- 電気配線の接続部は、絶縁・防水処理を行ってください。
漏電や感電により、火災や人身事故につながるおそれがあります。
- 付属の包装材は取り除いて使用してください。
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

- 組み立て、施工の際は、必ず同梱のねじを使用してください。
異なるねじを使用すると、ねじの折れ、強度低下、ゆるみなどにより、ダウンライトの落下や漏水など思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、ねじはまっすぐに最後まで締め付けてください。
締め付け不良はダウンライトの落下や漏水など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 商品が破損、変形およびキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。
破損、変形した商品を取り付けた場合、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 点灯中の照明を直視しないでください。
強い光により、目の傷害を引き起こすおそれがあります。
- 点灯中や消灯直後は照明機器やその周辺にさわらないでください。
やけどや、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

お願い

- 電気工事は電源を切った状態で行ってください。
活線工事は、電装部品の故障だけでなく、感電により人身事故につながるおそれがあります。
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取り付けしないでください。
商品が破損し思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 照明はスイッチを介して電源と接続してください。
照明が点灯したままになり、照明機器の寿命が短くなります。
また、照明交換やメンテナンスの際、感電や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 商品に付属しているCD管はコンクリート内埋設用です。
屋外への露出や直接地中内埋設などの配管はしないでください。
配管が割れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 器具に直射日光が当たる状態で点灯させないでください。
温度上昇による器具の短寿命や一時的な明るさ低下・不点灯の原因となります。
- 施工完了後、説明書の調整方法通り調整が行われていることを確認してください。
調整不良は、操作不良や異常音の原因となります。



- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具（保護帽、安全帯、目・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組み立て、取り付けは相応の人数で行ってください。
- 施工前に同梱されている部材および部品を確認してください。
- ホタルスイッチとLED照明の組み合わせの場合、スイッチがオフの場合でもホタル点灯の微弱電流によりLEDがぼんやりと点灯する場合があります。

同梱一覧

■センサー

姿 図					
品 名	センサー	センサー取付金具	センサーカバー 取付裏板	センサーカバー 取付ベース	センサーカバー
品 番	3K-44868	7K-10131	3K-18138	6K-16738	3K-31078 [3K-31053]
MCD-(DS)QN-S1	1	1	2	1	1
備 考	-	-	-	-	-

姿 図				
品 名	センサー裏板	なべドリルねじ (φ4×16)	なべタッピンねじ (φ3×8)	皿タッピンねじ (φ4×16)
品 番	2K-15401	DN-4016	CP-3008	EF-4016D7
MCD-(DS)QN-S1	2	2	2	4
備 考	-	センサー取付金具 取り付け用	センサー取り付け用	センサーカバー取付 ベース取り付け用

■サージプロテクタ

姿 図				
品 名	サージプロテクタ	サージプロテクタ 取付金具	なべドリルねじ (φ4×16)	なべタッピンねじ (φ4×10)
品 番	3K-48360	7K-10132	DN-4016	CP-4010
MCD-(DS)QN-P1	1	1	2	1
備 考	-	-	サージプロテクタ 取付金具取り付け用	サージプロテクタ 取り付け用

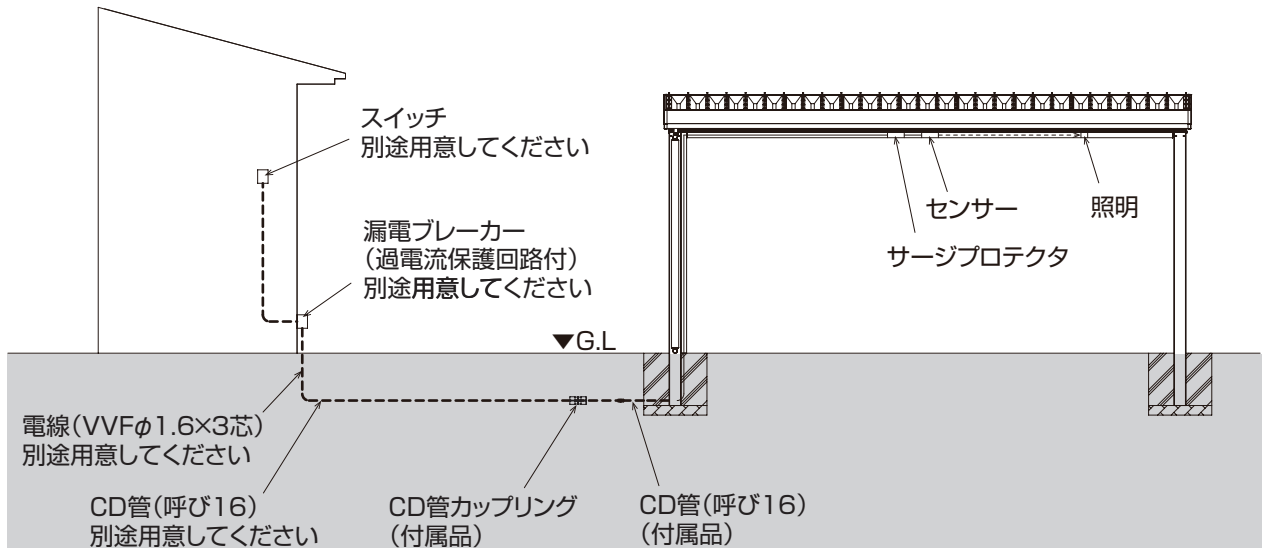
■照明

姿 図					
品 名	ダウンライト	照明カバー	照明裏板	小トラスタッピンねじ (φ4×10)	皿タッピンねじ (φ4×16)
品 番	3K-46699	6K-16734	2K-15401	EM-4010	EF-4016D7
DNL-(DS)L3-1	1	1	2	4	2
DNL-(DS)L3-2	2	2	4	8	4
DNL-(DS)L3-3	3	3	6	12	6
備 考	-	-	-	照明裏板取り付け用	照明取り付け用

・【 】は、本体色ライトステンの場合

全体構成図

- 現場にあわせて配管を敷設してください。
- 埋設管は必要な長さで切り落としてください。

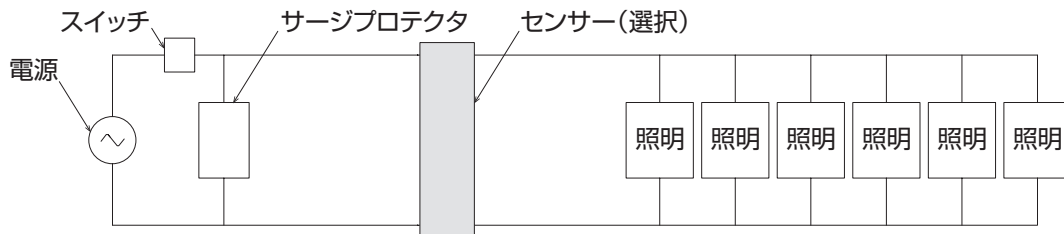


結線図



- サージプロテクタは雷により発生する異常な過電流、過電圧のリスクを軽減させるため必ず取り付けてください。
- 外観右側より電源を引き込む場合には、左右のCD管配置・配線を反転させてください。

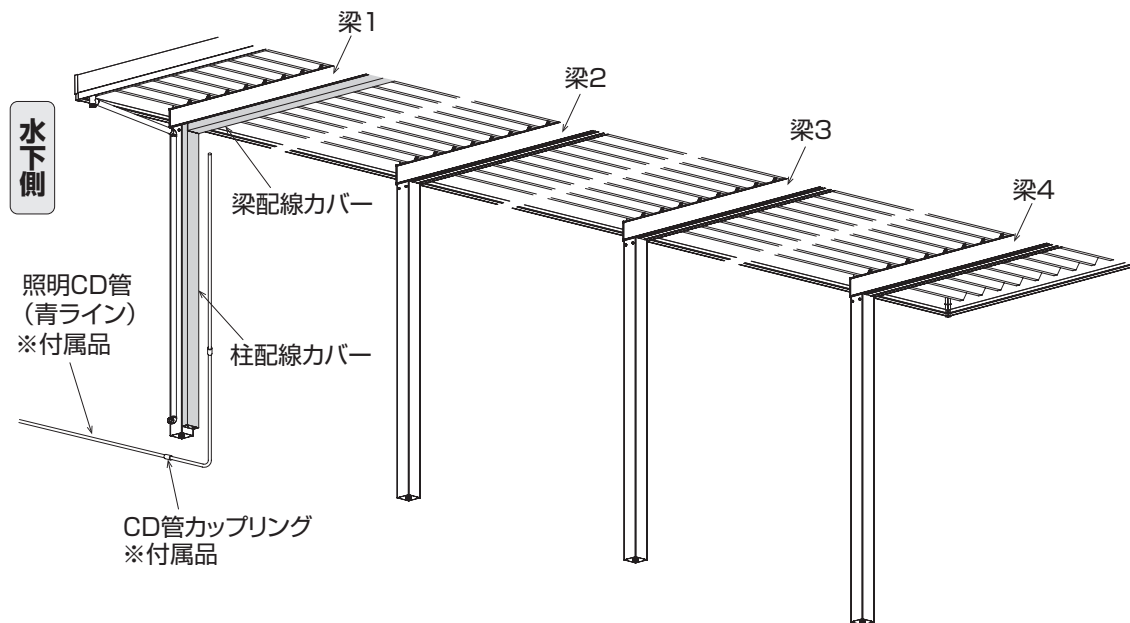
- 電線(VVFφ1.6×3芯および2芯)を別途用意してください。



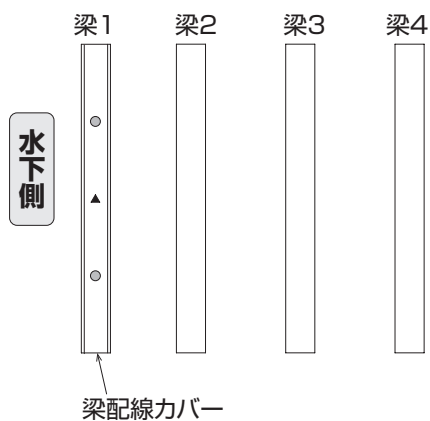
1本の梁にダウンライト2個を配置

- 図は4本柱の場合を示しています。
- 図は、水下側から見て左側に柱配線カバーを取り付ける場合を示しています。

■ 配線参考図

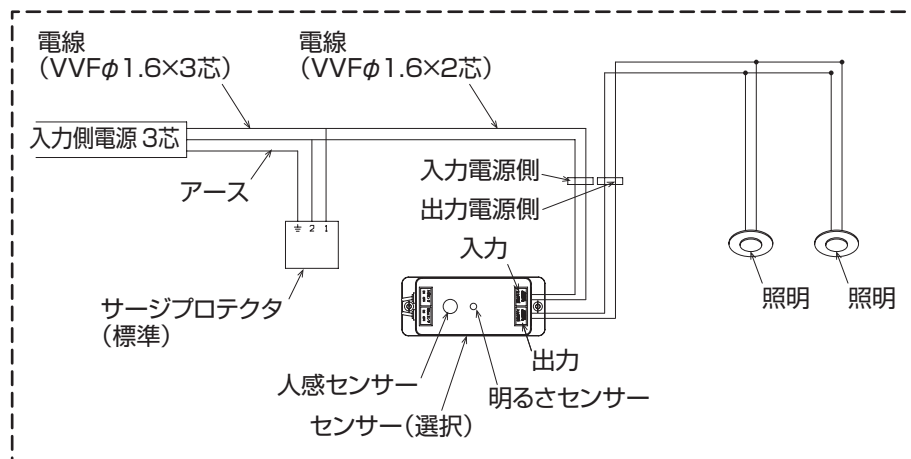


● ダウンライト、センサー取り付け位置



- : ダウンライト取り付け位置
- ▲: センサー取り付け位置

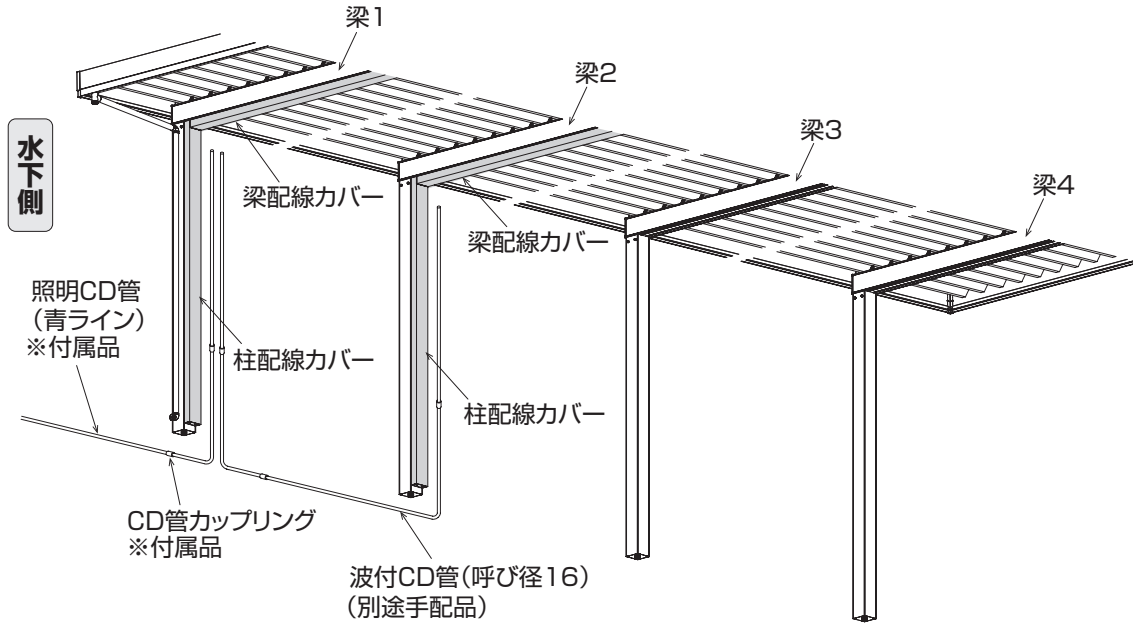
● 梁1



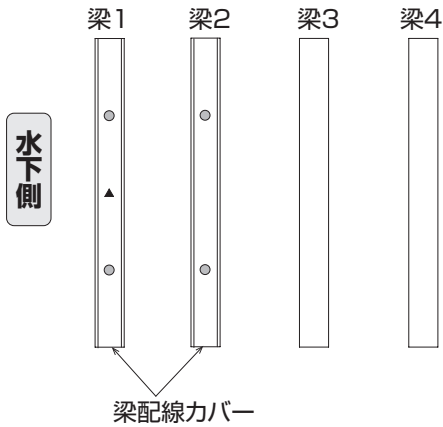
2本の梁にダウンライト4個を配置

- 図は4本柱の場合を示しています。
- 図は、水下側から見て左側に柱配線カバーを取り付ける場合を示しています。

■ 配線参考図



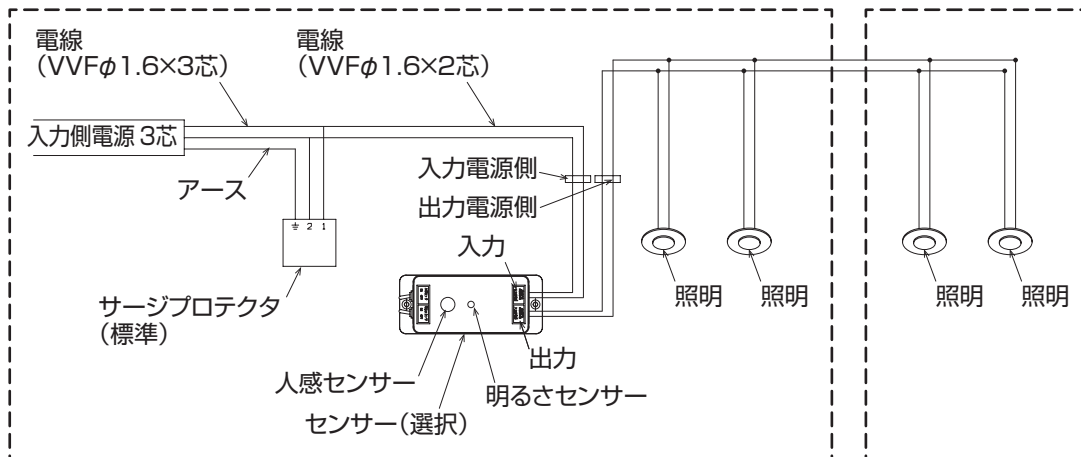
● ダウンライト、センサー取り付け位置



- :ダウンライト取り付け位置
- ▲:センサー取り付け位置

● 梁1

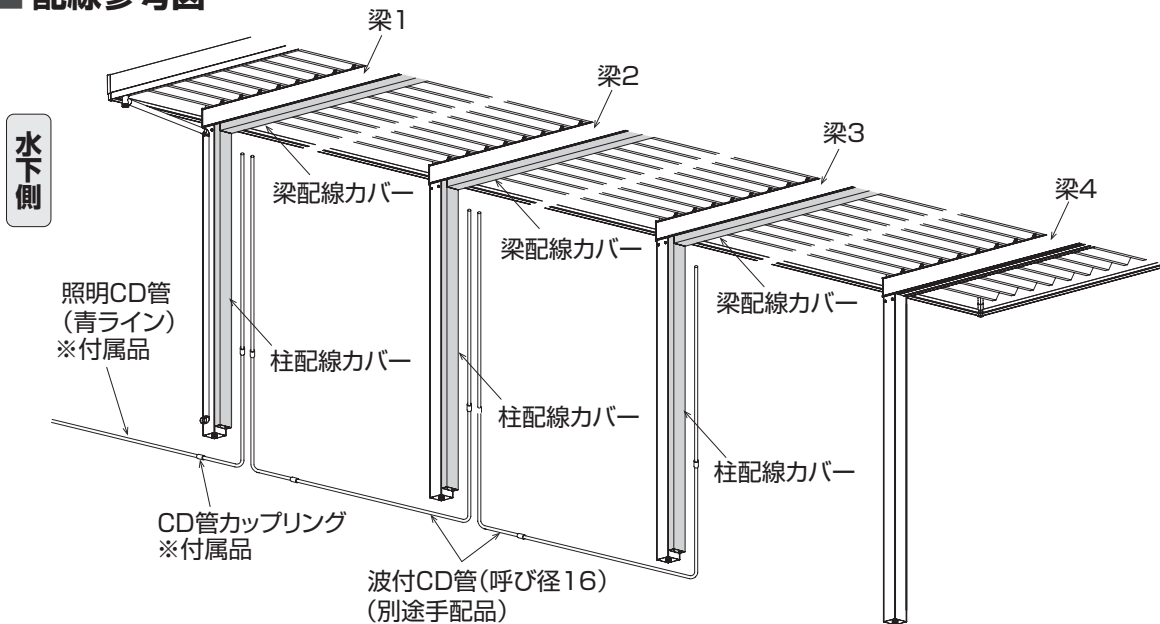
● 梁2



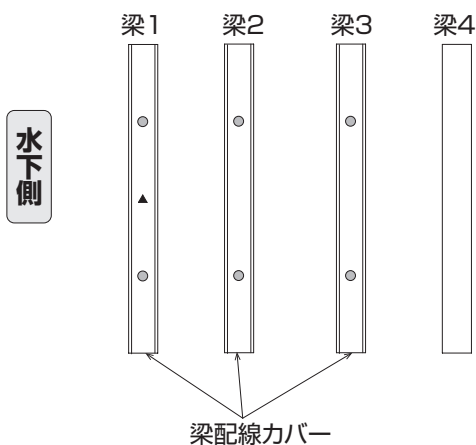
3本の梁にダウンライト6個を配置

- 図は4本柱の場合を示しています。
- 図は、水下側から見て左側に柱配線カバーを取り付ける場合を示しています。

■ 配線参考図



● ダウンライト、センサー取り付け位置

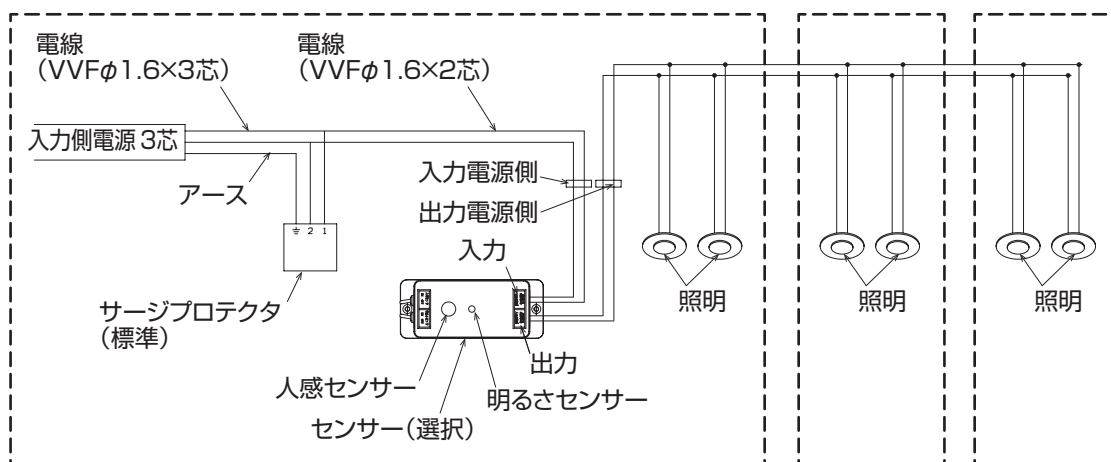


- :ダウンライト取り付け位置
- ▲:センサー取り付け位置

● 梁1

● 梁2

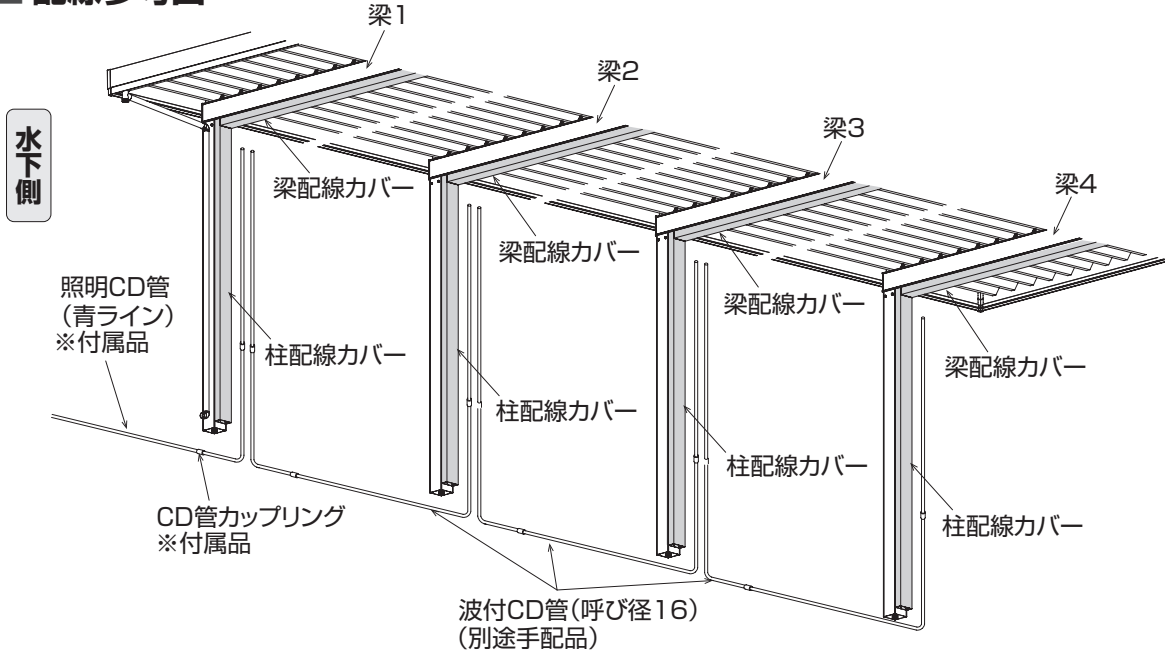
● 梁3



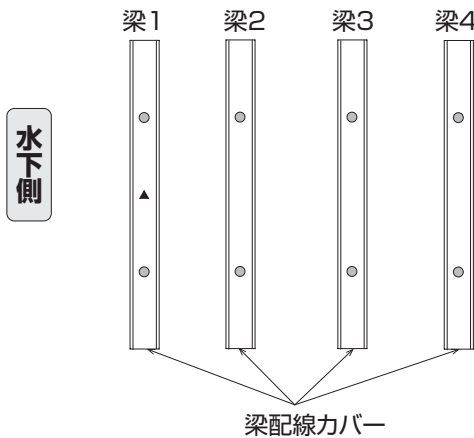
4本の梁にダウンライト8個を配置

- 図は4本柱の場合を示しています。
- 図は、水下側から見て左側に柱配線カバーを取り付ける場合を示しています。

■ 配線参考図

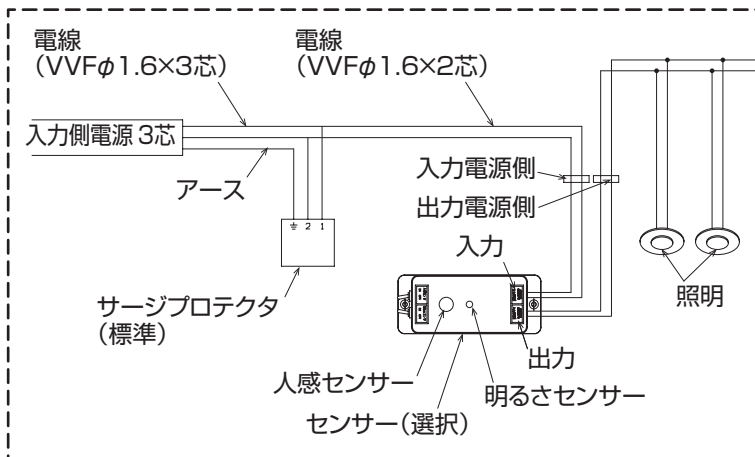


● ダウンライト、センサー取り付け位置

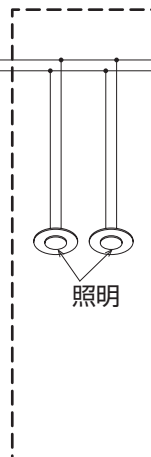


- :ダウンライト取り付け位置
- ▲:センサー取り付け位置

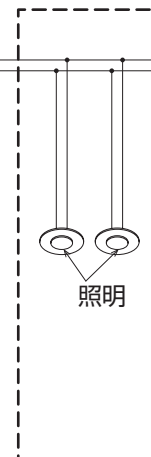
● 梁1



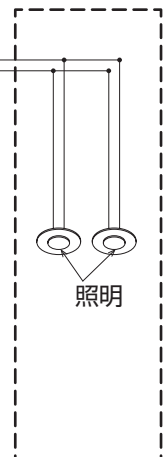
● 梁2



● 梁3

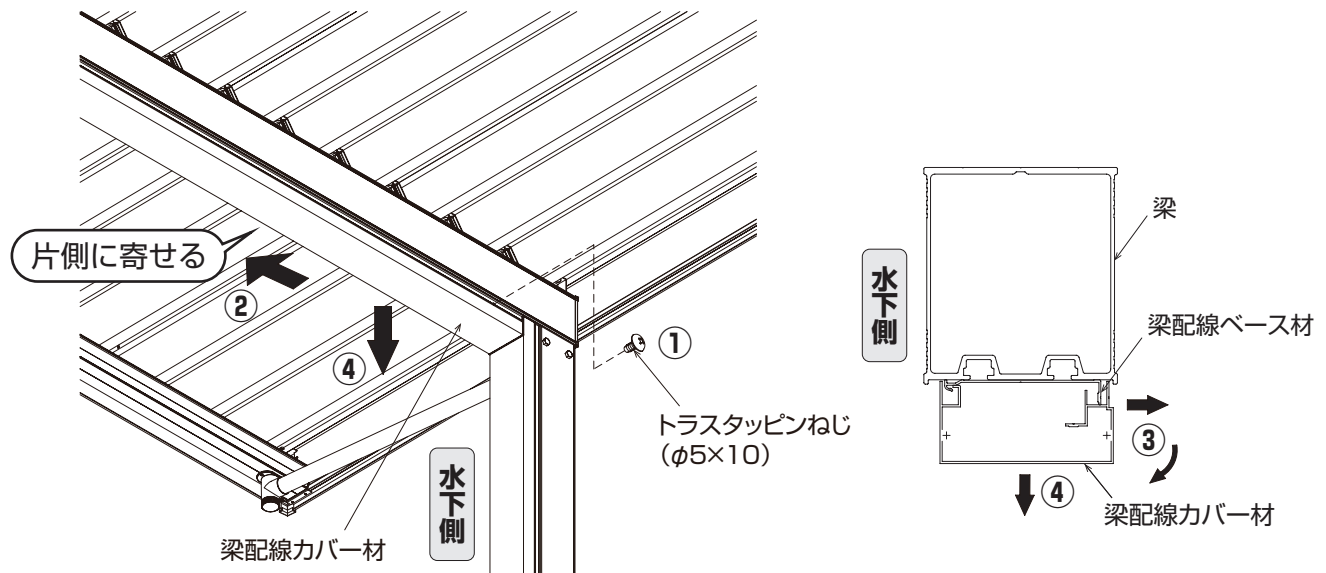


● 梁4



梁配線カバー材の取りはずし

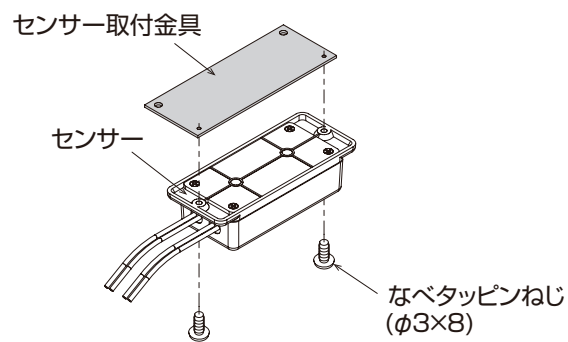
1 梁配線カバー材を梁配線ベース材から取りはずしてください。



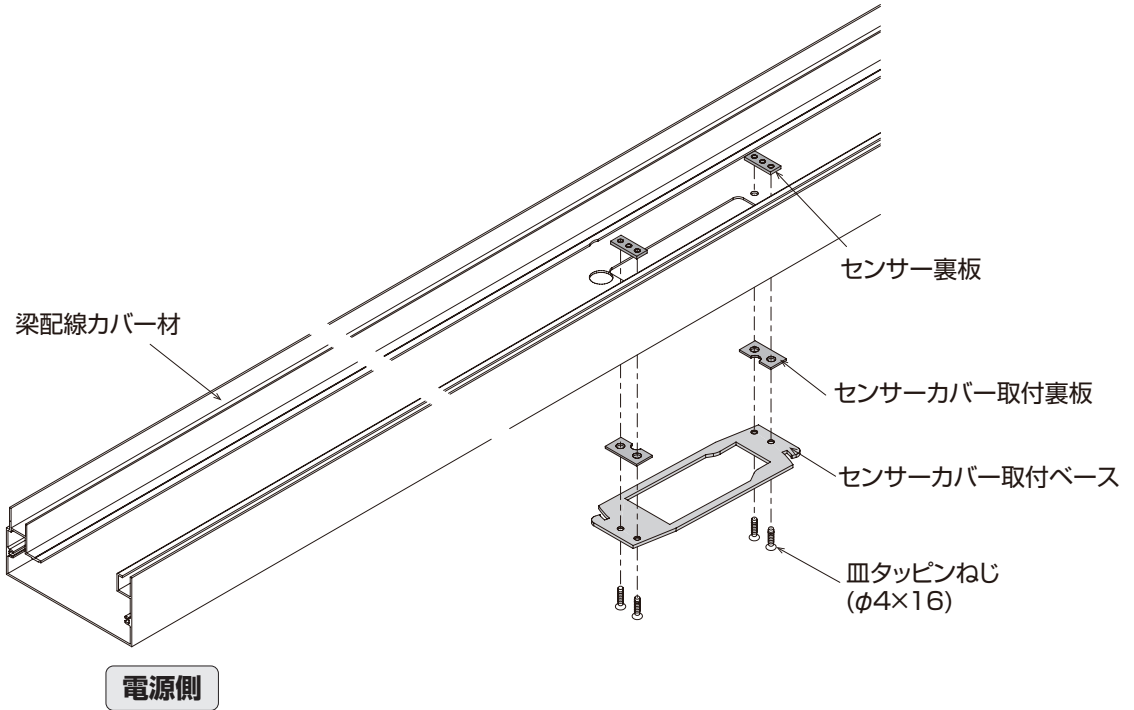
センサーの取り付け



1 センサー取付金具をセンサーに取り付けてください。

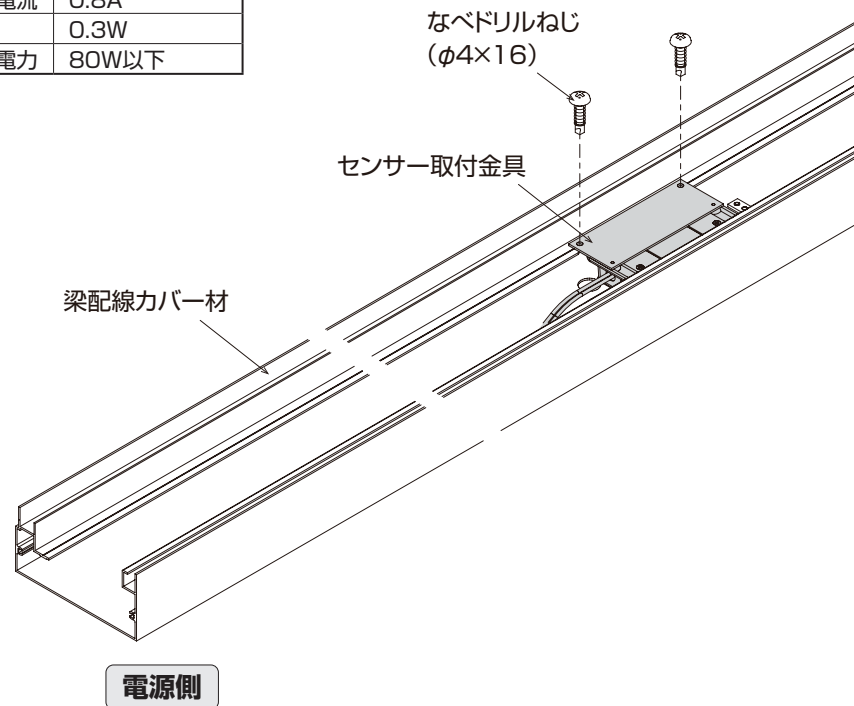


2 センサーカバー取付ベースを梁配線カバー材に取り付けてください。



3 センサー取付金具を梁配線カバー材に取り付けてください。

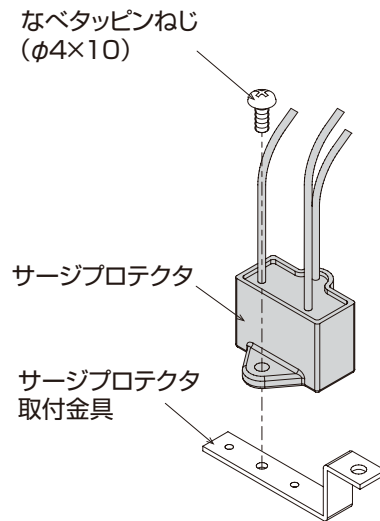
センサー仕様	
入力電圧	AC100V
周波数	50/60Hz 共用
最大定格電流	0.8A
消費電力	0.3W
接続負荷電力	80W以下



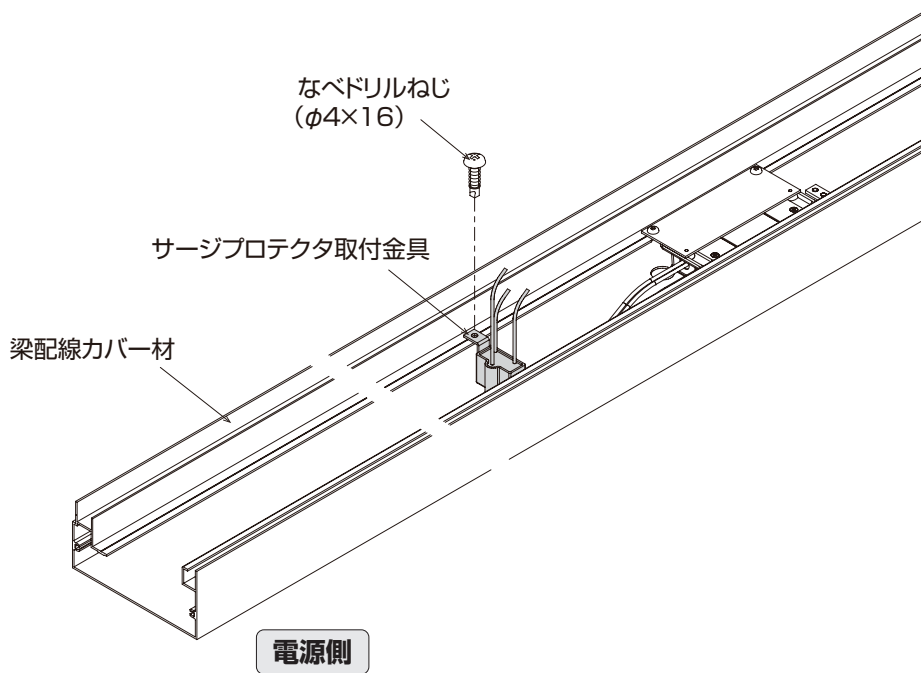


サージプロテクタの取り付け

1 サージプロテクタをサージプロテクタ取付金具に取り付けてください。



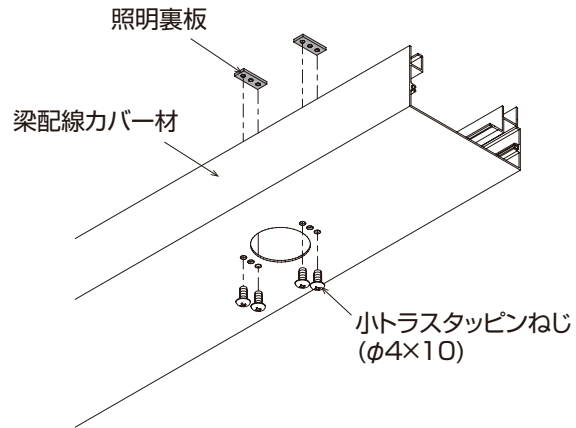
2 サージプロテクタ取付金具を梁配線カバー材に取り付けてください。





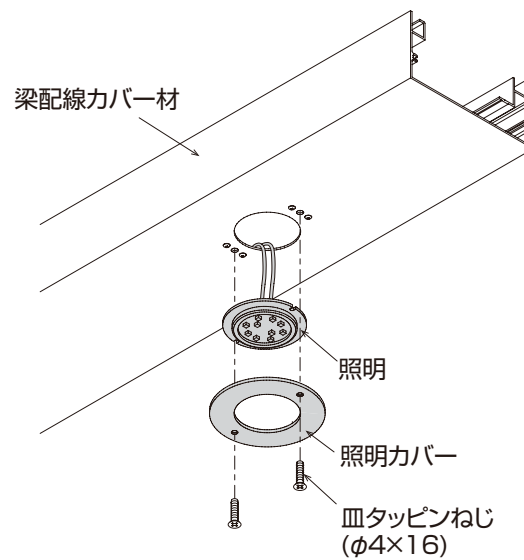
照明の取り付け

- 1 配線参考図 (P.6~P.9) を参照し、配線してください。
- 2 照明裏板を梁配線カバー材に取り付けてください。



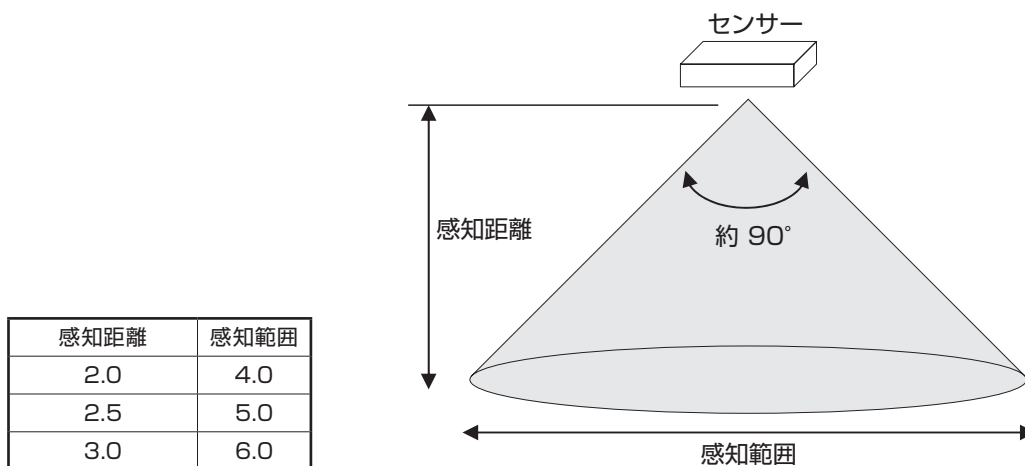
- 3 電線を照明に接続してください。
- 4 照明カバー、照明を梁配線カバー材に取り付けてください。

LED照明仕様	
入力電圧	AC100V
周波数	50/60Hz 共用
入力電流	12mA
消費電力	1.2W
発光色	電球色相当 (2700K)
全光速	53lm
中心光度	18cd以上
ビーム角	110°



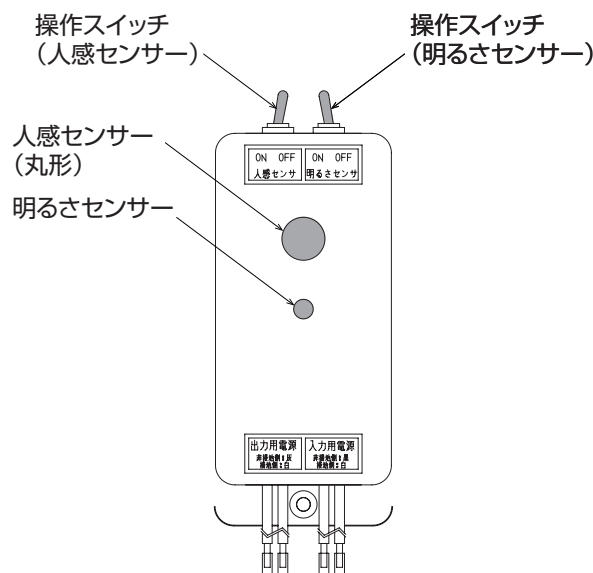
センサーの感知エリア

- 停電および、電源投入時には、センサーが正常に作動するまで約30秒必要です。
- 人感センサー感知エリアは周囲の環境や感知対象物の移動速度により変化しますので、目安としてお考えください。
- 動きを止めると、設定時間で消灯します。
- 温風ヒーターや部屋暖房を行うなど、周囲に温度変化が生じている場合、人がいないのに感知する場合があります。
- 人感センサーが物体を検知してから照明が点灯するまで約1秒必要です。



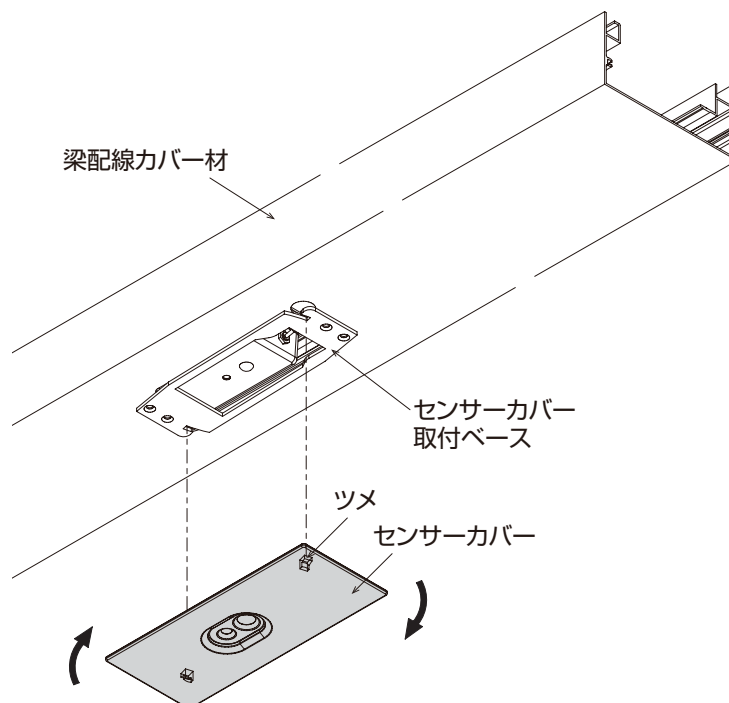
センサーの操作確認・設定

1 センサーの操作スイッチを切り替えて、動作を確認してください。



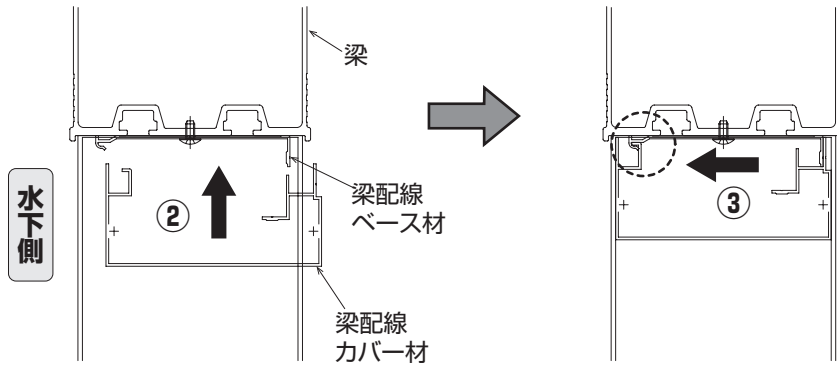
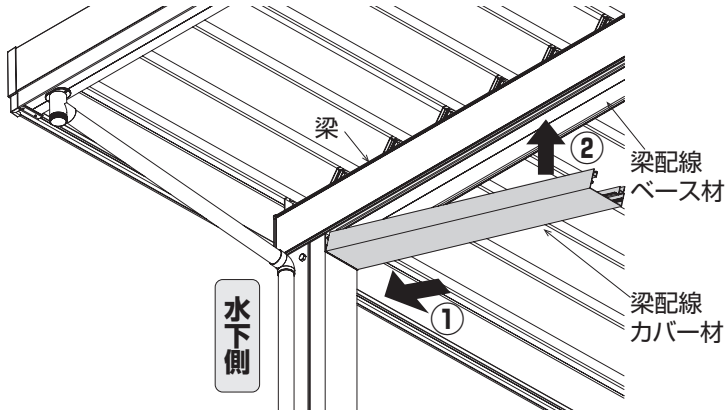
動作モード	スイッチの状態	動作内容
モード1		①暗い環境で、人感センサーが感知すると点灯します。 ②人感センサーが感知なくなってから 15 秒後に消灯します。 ①②の動作を繰り返します。
モード2		①暗い環境になると、8 時間連続点灯し、その後消灯します。 (8 時間後に消灯した際、周囲環境が暗くても再点灯しません) ②周囲環境が明るくなるとリセットされます。 ①②の動作を繰り返します。
モード3		①周囲の明るさに関わらず、人感センサーが感知すると点灯します。 ②人感センサーが感知なくなってから 15 秒後に消灯します。 ①②の動作を繰り返します。
モード4		①常時点灯します。

2 センサーカバーのツメを、センサーカバー取付ベースに引っかけて取り付けてください。

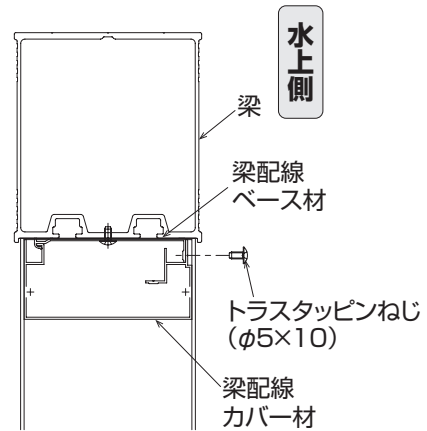
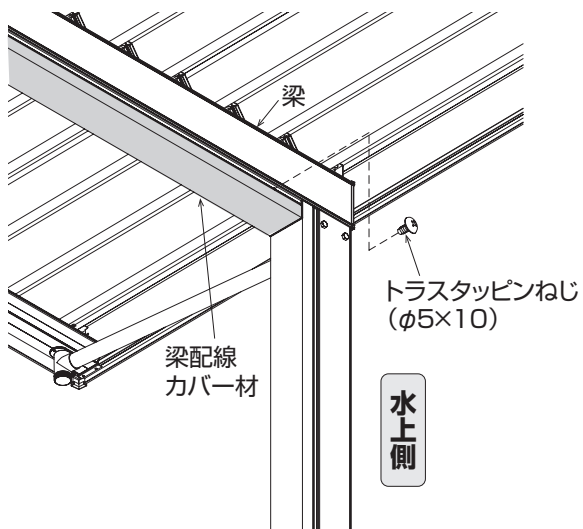


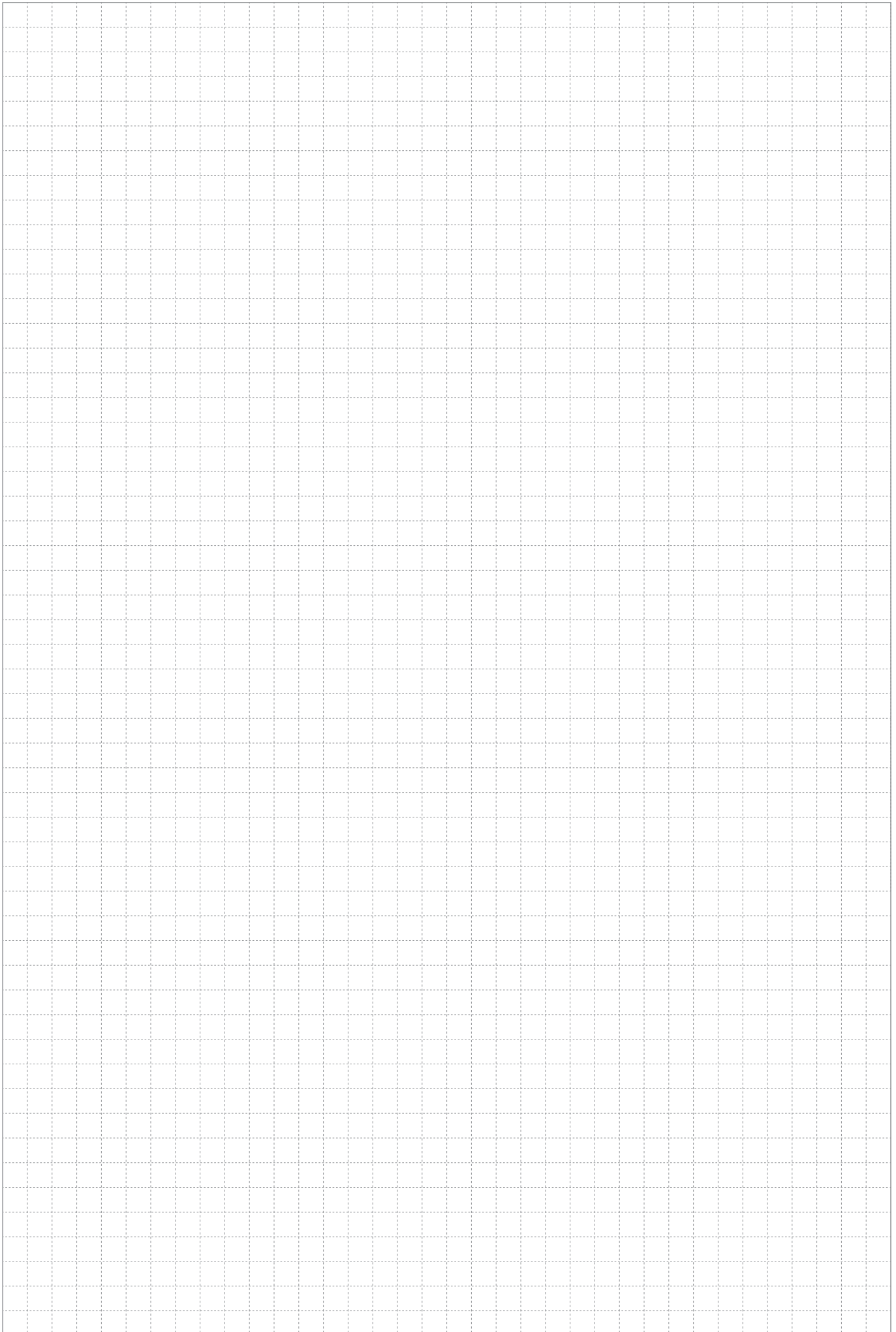
梁配線カバー材の取り付け

1 梁配線カバー材を梁配線ベース材に入れ込み、横にスライドさせて取り付けてください。



2 梁配線カバーをねじで取り付けてください。





お客様メモ

A series of horizontal dashed lines providing a template for customer notes.

株式会社大仙

●表示内容は2022年10月現在のものです。

ホームページ <https://daisen-exterior.jp/>